



小児がん中央機関からの報告②

国立成育医療研究センター 松本公一

小児がん拠点病院連絡協議会

2023.1.26

小児がん拠点病院/連携病院
2021情報公開解析

提出状況

	拠点	連携	連携			他	合計	最終提出数	未提出
			類型 1	類型 2	類型 3				
北海道	1	15	4	1	10	0	31	16	0
東北	1	9	6	0	3	0	19	10	0
関東・甲信越	4	41	34	5	2	2	88	46	1
東海・北陸	3	17	16	3	9	0	48	20	0
近畿	4	31	16	3	12	1	67	36	0
中国・四国	1	16	15	1	0	0	33	17	0
九州・沖縄	1	14	14	0	5	0	34	15	0
合計	15	143	105	13	41	3	320	160	1

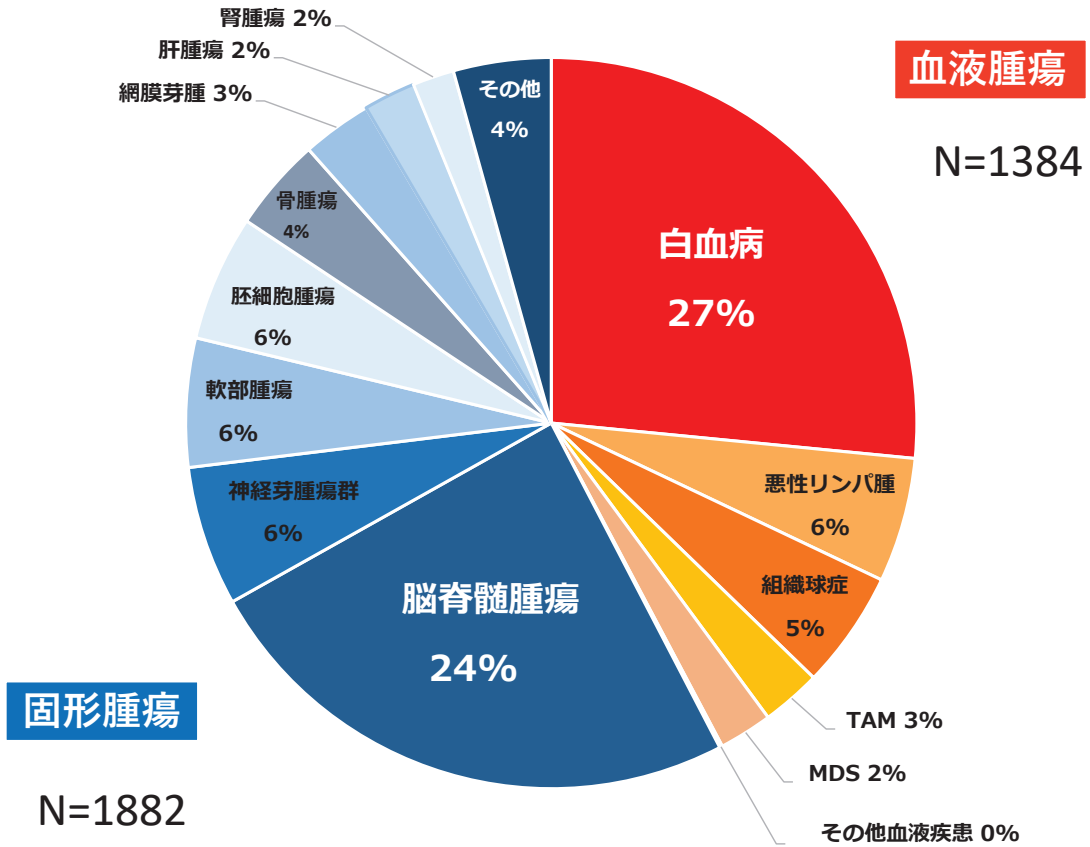
2022.9.30 現在

岐阜市民病院
東海・北陸、近畿 2ブロックにて連携しているが、東海・北陸にて計上

診療実績（初発）

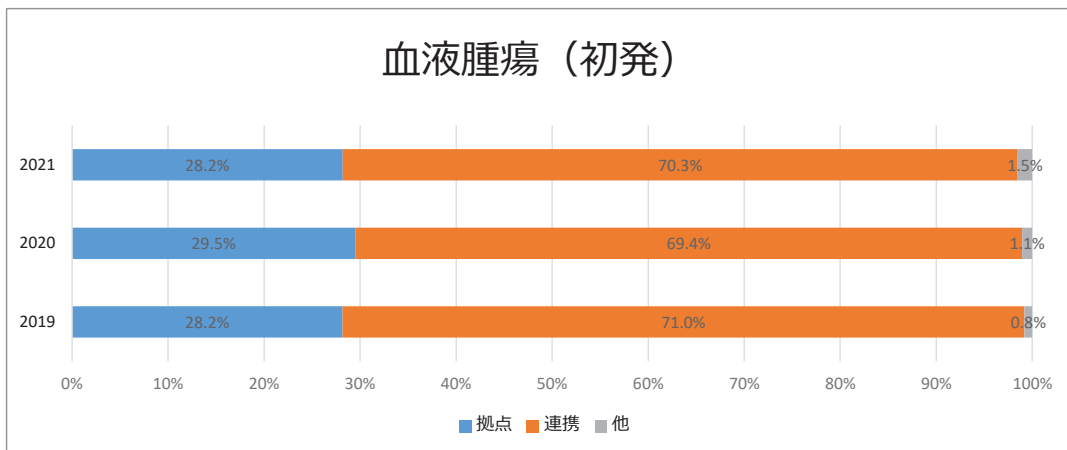
	2021年	2020年	2019年	平均
造血器腫瘍	1,384	1,325	1,324	1,344
急性リンパ性白血病	610	599	575	595
急性骨髄性白血病	212	176	198	195
まれな白血病	17	22	16	18
MDS/MPDのうちCML	28	27	21	25
MDS/MPDのうちCMLを除く	65	43	57	55
非ホジキンリンパ腫	141	149	138	143
ホジキンリンパ腫	39	31	41	37
その他のリンパ増殖性疾患	12	17	13	14
組織球症（HLH）	45	44	59	49
組織球症（LCH）	109	108	121	113
その他の組織球症	16	23	31	23
その他の造血器腫瘍	4	12	3	6
Down症TAM登録	86	74	51	70
固形腫瘍	1,882	1,875	1,854	1,870
神経芽腫瘍群	202	206	183	197
網膜芽腫	101	83	114	99
腎腫瘍	60	73	56	63
肝腫瘍	75	62	68	68
骨腫瘍	135	137	156	143
軟部腫瘍	186	212	188	195
胚細胞腫瘍（脳・脊髄病変以外）	182	189	204	192
脳脊髄腫瘍	800	768	754	774
その他の固形腫瘍	141	145	131	139

2021年初発症例

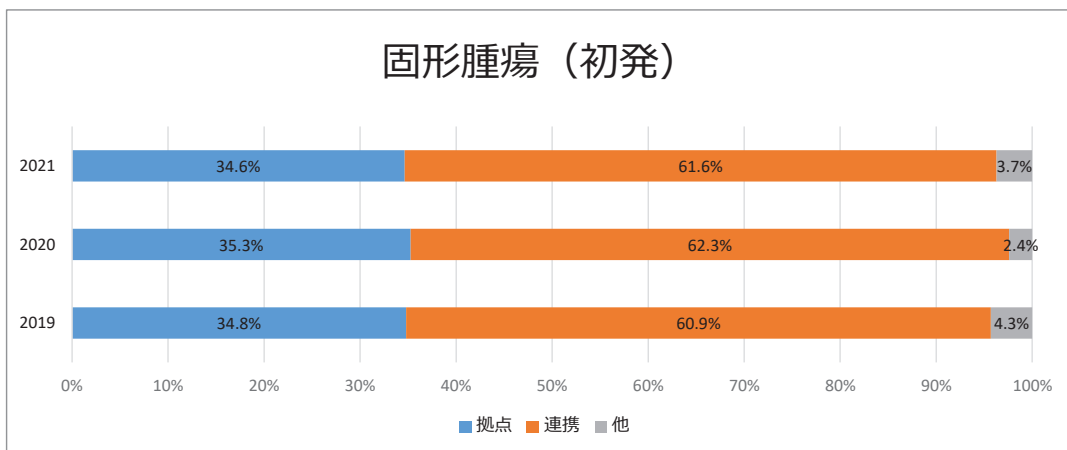


2021/1/1～2021/12/31症例

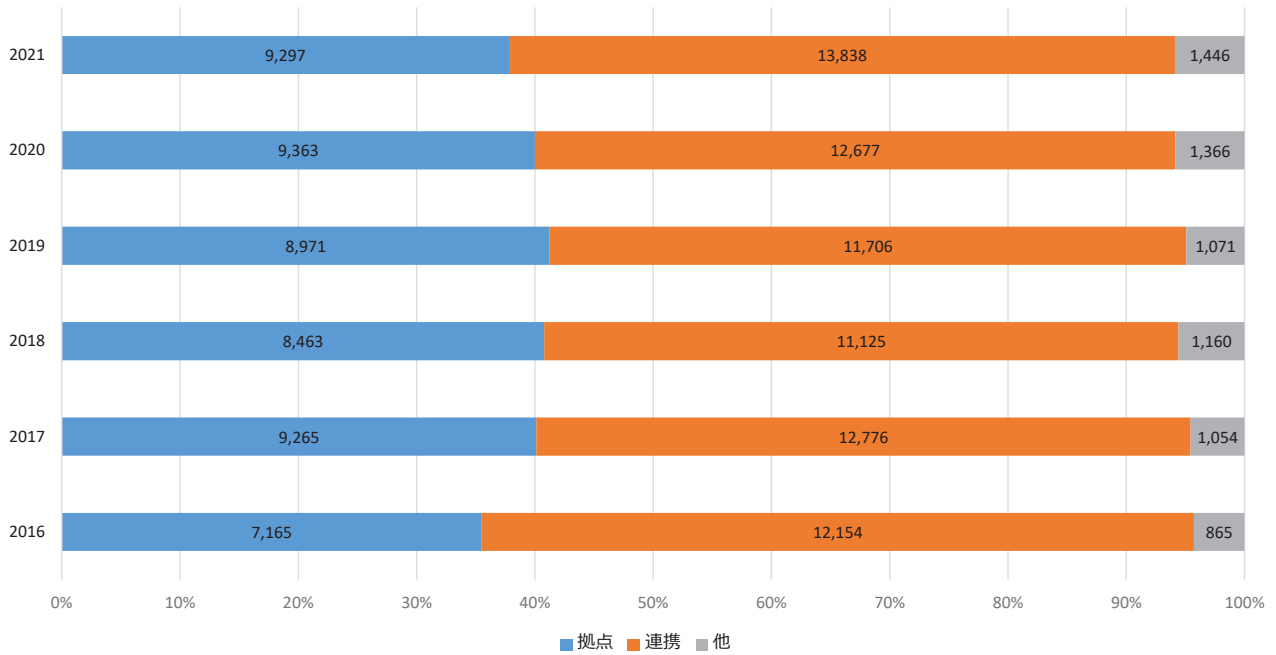
血液腫瘍（初発）



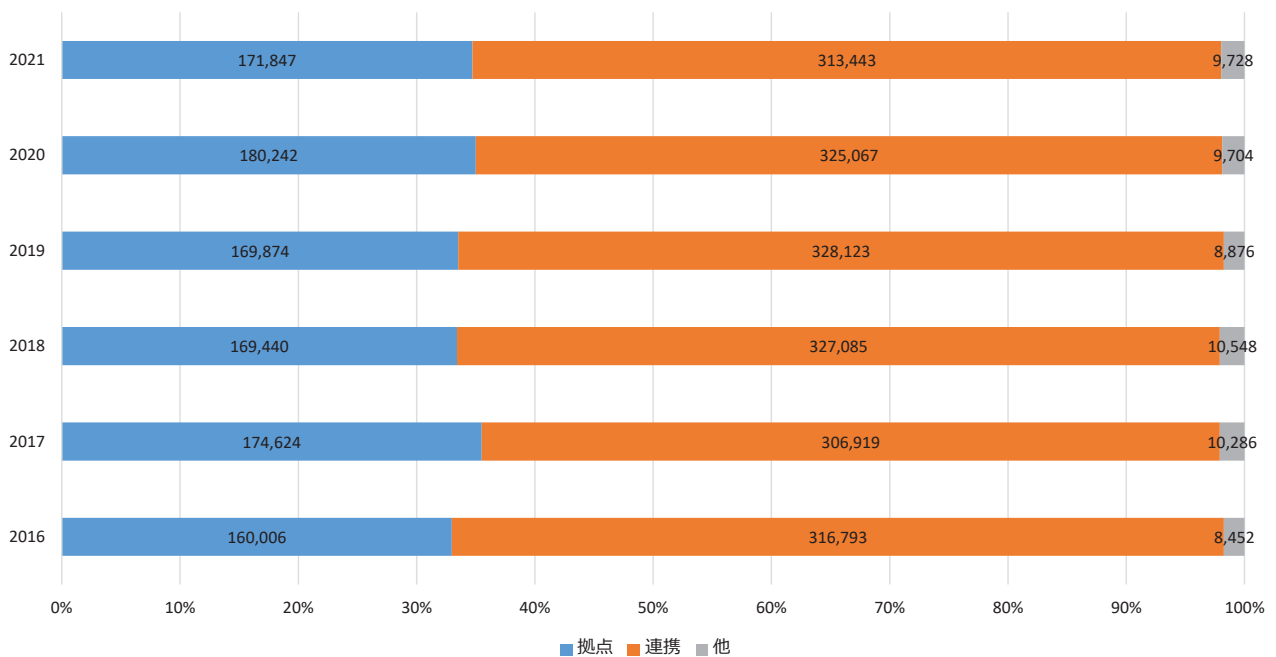
固形腫瘍（初発）



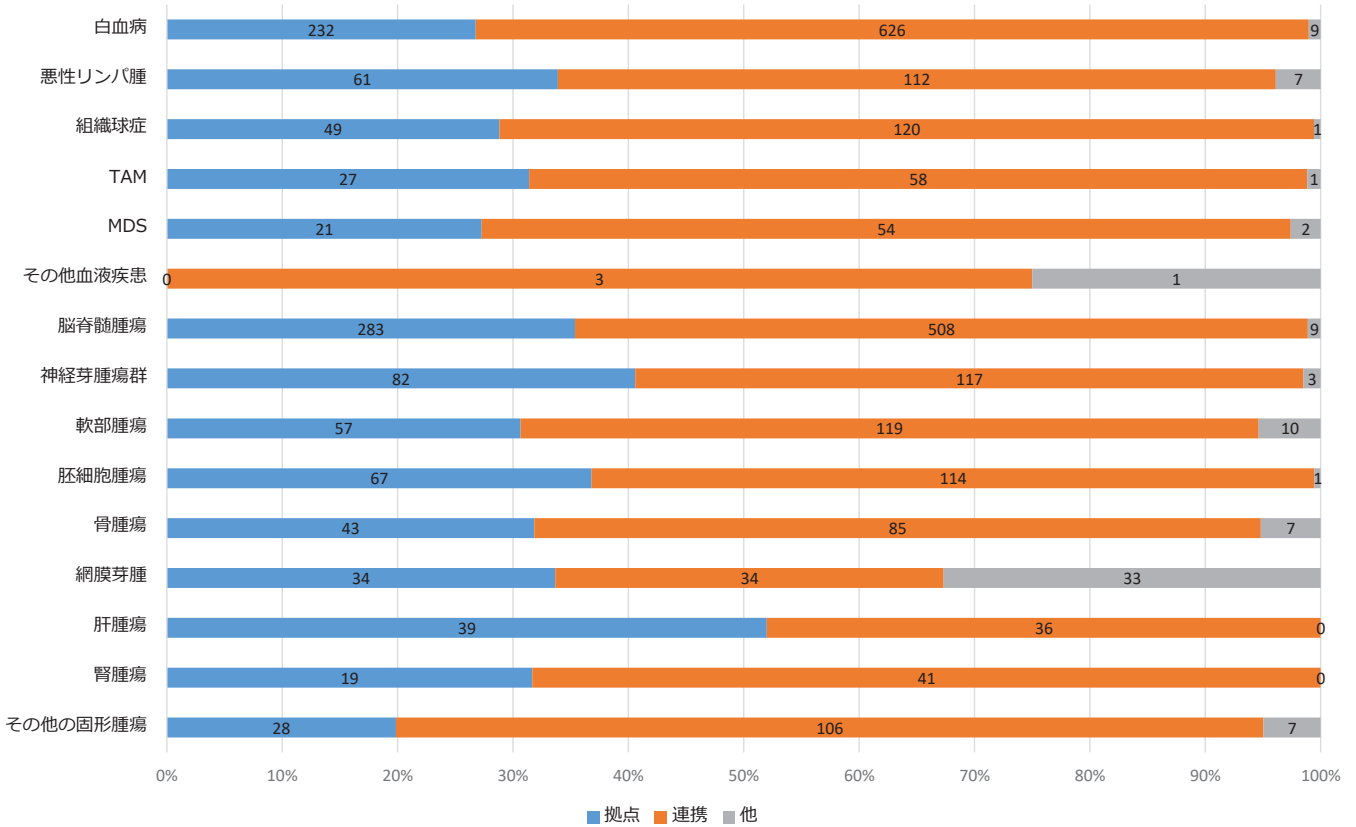
小児がん入院患者延べ数



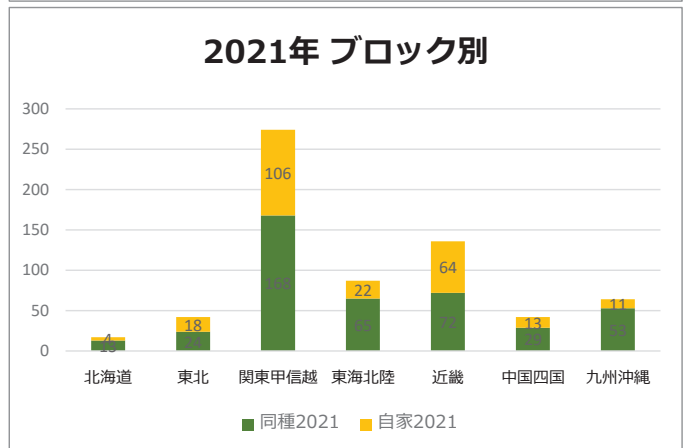
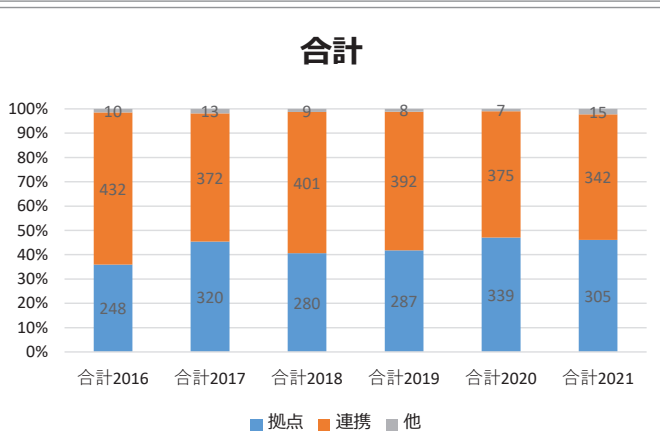
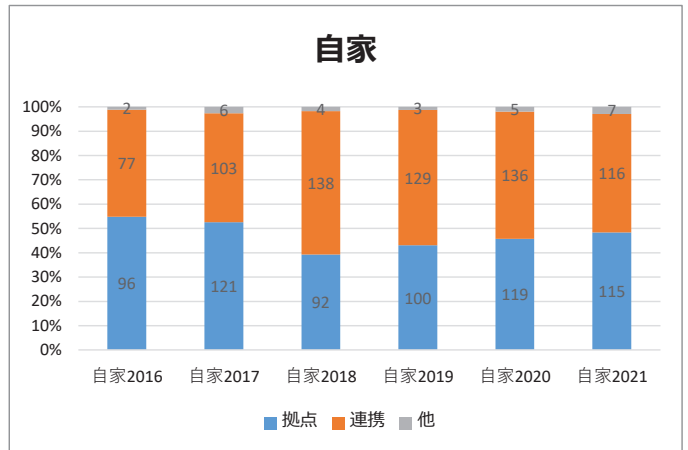
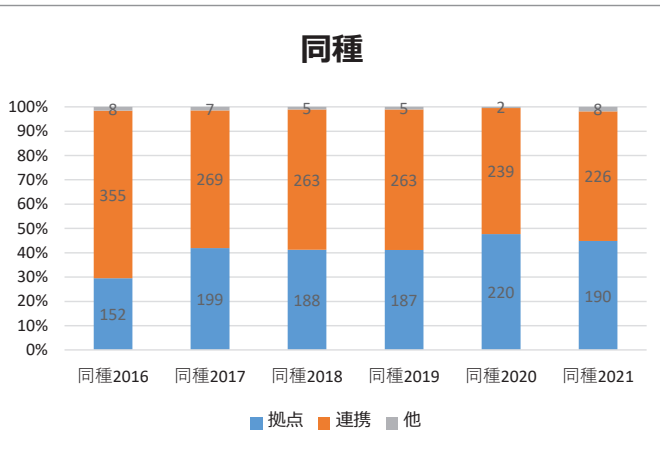
小児がん入院患者在院延べ日数



2021年初発 施設区分別症例集計

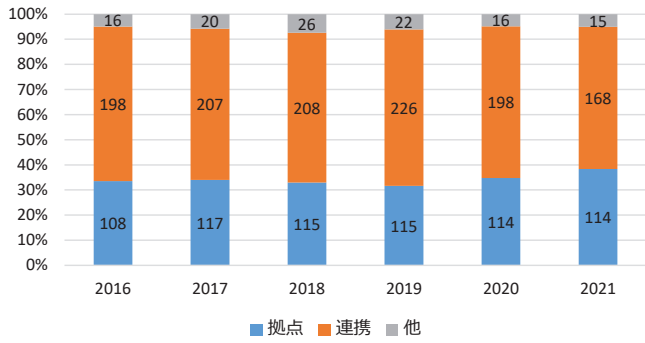


造血細胞移植

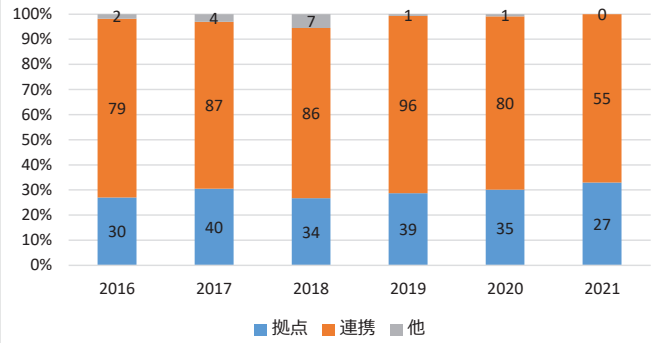


死亡患者数

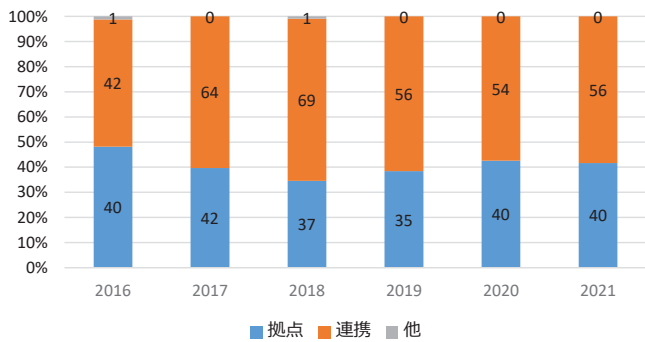
施設区分別



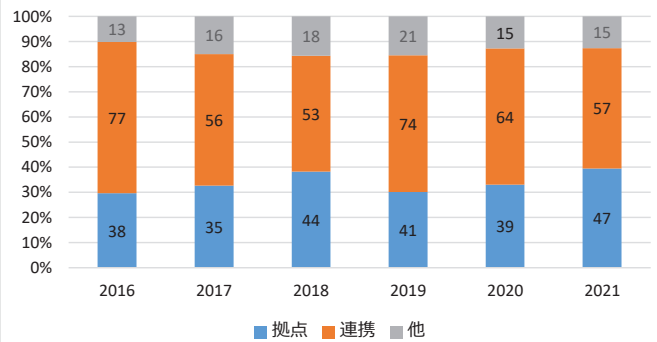
血液腫瘍



脳・脊髄腫瘍



固形腫瘍



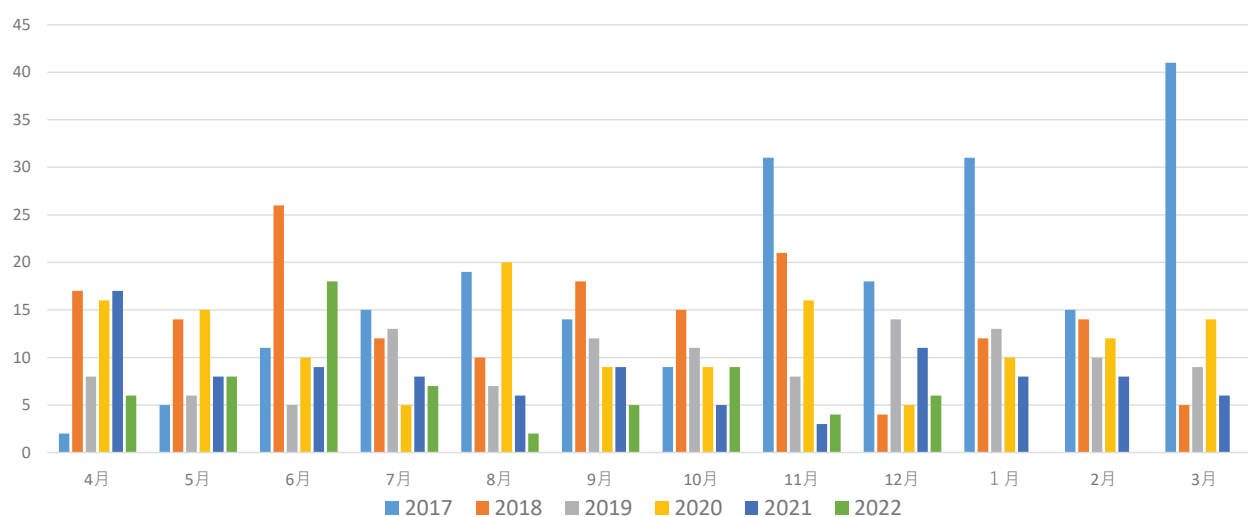
成育医療研究センターHP閲覧状況

ページタイトル	ページビュー数	訪問数	平均ページ滞在時間 (分:秒)
全国の小児がん診療施設の情報 国立成育医療研究センター	9,352	6,957	01:01
小児がん診療施設情報 -- 関東甲信越ブロック 国立成育医療研究センター	5,190	3,594	02:46
小児がん診療施設情報 -- 近畿ブロック 国立成育医療研究センター	2,781	2,008	02:41
小児がん診療施設情報 -- 北海道ブロック 国立成育医療研究センター	1,639	1,119	02:15
小児がん診療施設情報 -- 中国・四国ブロック 国立成育医療研究センター	1,470	1,130	02:00
小児がん診療施設情報 -- 東海・北陸ブロック 国立成育医療研究センター	2,122	1,558	02:22
小児がん診療施設情報 -- 九州・沖縄ブロック 国立成育医療研究センター	1,376	1,114	02:44
小児がん診療施設情報 -- 東北ブロック 国立成育医療研究センター	1,159	901	01:55

データ期間：2022.1.1～2022.12.31

小児がん医療相談ホットライン

小児がん医療相談ホットライン相談件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017	2	5	11	15	19	14	9	31	18	31	15	41	211
2018	17	14	26	12	10	18	15	21	4	12	14	5	168
2019	8	6	5	13	7	12	11	8	14	13	10	9	116
2020	16	15	10	5	20	9	9	16	5	10	12	14	141
2021	17	8	9	8	6	9	5	3	11	8	8	6	98
2022	6	8	18	7	2	5	9	4	6				65

小児がん中央機関の役割

新整備指針（2022.8.1.健康局長通知）より

厚生労働大臣が指定する小児がん中央機関は、拠点病院を牽引し、全国の小児がん診療の連携体制を整備し、医療及び支援の質を向上させるため、小児がん拠点病院連絡協議会の議論を踏まえ以下の役割を担うものとする。

- (1) 小児がん及びAYA世代で発症するがんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行うこと。また、小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討すること。
- (2) 小児がん及びAYA世代で発症するがんに関する情報を収集し、広く国民に提供すること。
- (3) 全国の小児がんに関する**研究開発及び臨床研究の推進・支援**を行うこと。
- (4) 小児がんの治験促進に向け、**治験に関する情報提供**を行い、**国内の連携体制を整備**すること。
- (5) 拠点病院、小児がん連携病院等に対する、中央病理診断等の診断、治療などの**診療支援体制について協議**すること。
- (6) **小児がん診療、相談支援や治験等に携わる者の育成**に関する国内の体制整備を行うこと。
- (7) 小児がんの登録の体制の整備を行うこと。
- (8) 小児がん患者がその成長等に伴い全国どこに移住したとしても、**切れ目ない長期フォローアップを受けることができる体制の整備**を行うこと。
- (9)(1)から(8)の業務にあたっては、患者、家族及び外部有識者等による検討を踏まえて行うこと。